

総合的な学習の時間

第7学年

竹原市立吉名学園

指導者 日下 弘法 古本 みのる

吉名野菜生産販売プロジェクト！ ～吉名産じゃがいも販売の黒字計画～

1 単元のデザイン

単元の目標

黒字を目指して吉名産の野菜を生産し、それをマーケティング戦略に基づいて販売する活動を通して、マーケティング戦略の基礎を理解し、資料を用いながら他者に説明したり発想を広げて工夫したりすることができるとともに、課題の解決に向けて進んで挑戦し、失敗や困難に出会っても改善を図って再挑戦し、最後までやり切ろうとしている。

単元について

本単元の主な活動は、吉名産の野菜を生産し、それをマーケティング戦略に基づいて実際に道の駅で販売することである。マーケティング戦略を立てる際には、インタビューや店頭調査を行い、集めた情報を整理・分析する。この活動を通して、情報を収集する力、整理・分析する力を高めることができる。また、販売する際には、POPやキャラクターの考案、看板の作成などの工夫を行うことが考えられる。これらの活動を通してICT活用力や表現する力、発想する力を高めることができる。

本単元の主な教材は、「吉名産の野菜」である。夏野菜で生産・販売する野菜は生徒の希望に合わせ様々な種類の野菜を扱う。これにより、生徒の思いに基づいた活動になるとともに生産に関する多様な知識が得られる。また、種類ごとの原価と収益を分析することで、黒字にするには支出を少なく収入が大きいの選択するという視点を得ることができる。冬野菜は吉名町の伝統的な野菜であるじゃがいもを扱う。そうすることで、そのよさを改めて理解し、郷土愛を育むことができる。

SDGsの視点：8 働きがいも 経済成長も

本単元を通して、生徒が生産性の視点をもつとともに、働きがいを感じ、さらに起業家の精神をもつことが期待できる。

児童生徒の実態

本学級の生徒は、吉名学園で収穫した夏野菜を道の駅たけはらで販売する活動を通して、販売戦略や収支について考える経験をしてきている。しかし、インターネットの情報を活用するのみで、ターゲット層を考えたり、顧客のニーズを把握していなかったりするなど、マーケティング戦略の理解が不十分である。

ICT活用力については、全ての生徒が文書作成ソフトを用いてレポートを作成すること、インターネットを利用して情報を収集すること、スライドを作成することができる。しかし、見る人を引き付けるような工夫を行うことについては乏しい面がある。動画編集については2名の生徒のみができる。

プレゼンテーション力については、目的に応じてスライドを指し示したり、相手の反応に合わせてながら発表したりすることは難しい。

協働する力については、全員で決めた内容を進んで役割分担をして、協力しながら活動を進めることができる。また、発想力に長けている生徒が多い。新しいキャラクターを作って看板やうちわを製作したり、カラス対策としてかかしを作成や防鳥テープの設置を行ったりした。

指導の工夫

(1) プロジェクト型学習

本気になる課題設定となるように、夏野菜生産販売において黒字戦略を掲げて取り組んだが、害虫などによる野菜の不作や、苗代や肥料代などの支出が多く赤字を招いてしまったという失敗と出合わせることで、「なぜだろう」という疑問や「じゃがいもの生産・販売では黒字にしたい」という意欲を引き出す。

生徒の思いや願いに基づく挑戦となるように、生徒の「やってみたい」という思いに沿って単元を柔軟に変更し、教師がルールを敷かないようにする。

問題解決に際して、自分たちにはない観点から考えることができるよう、野菜生産の専門家の方から指導や助言をいただく。

(2) ICT活用

本単元では、主に協働の場面でICTを活用する。具体的には、インターネットで情報を検索したり、インタビューの内容を整理・分析したりする際に活用する。また、チラシやポスター、動画などを制作する際に活用する。

(3) シンキングツールの活用

本単元では、主に以下の4つのシンキングツールを活用する。

- ① イメージマップ……販売するために何が必要か考えを広げる場面で用いる。
- ② PMIシート……活動を振り返る際、よい点・問題点・気になる点に分けて整理する場面で用いる。
- ③ 座標軸……様々な情報を複数の視点で整理・分析する場面で用いる。
- ④ くまでチャート……自分たちが取り組むことを多面的・多角的に整理する場面で用いる。

2 単元の評価規準及びルーブリック

評価の観点		S (期待以上)	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する)
(1) 知識・技能	ア 知識	野菜生産に関する知識やマーケティング戦略の基礎を他の知識と関連付けながら理解し、活用している。 野菜生産やマーケティングなどに関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	野菜生産に関する知識やマーケティング戦略の基礎を理解し、それを活用している。 野菜生産やマーケティングなどに関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	野菜生産に関する知識やマーケティング戦略の基礎を理解している。 野菜生産やマーケティングなどに関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	野菜生産に関する知識やマーケティング戦略の基礎を理解していない。 野菜生産やマーケティングなどに関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果でない。
	イ 技能	文章作成ソフトなどを用いてチラシを作成したり、プレゼンテーションソフトを用いて目的に応じた枚数の工夫したプレゼンテーション資料を作成したりすることができる。	文章作成ソフトなどを用いてチラシを作成したり、プレゼンテーションソフトを用いて目的に応じた枚数のプレゼンテーション資料を作成したりすることができる。	文章作成ソフトなどを用いて、目的に応じた枚数のプレゼンテーション資料を作成することができる。	教師や友達の支援がなければ、文章作成ソフトを用いてプレゼンテーション資料を作成することができない。
(2) 思考・判断・表現	ウ 課題を発見する力 企画する力	体験活動やインタビュー、資料の分析で得た情報、自分たちの興味・関心や地域の方の思い・願い、社会的な広い視野から課題を設定し、課題解決に向けて様々なアイデアを出すことができる。	体験活動やインタビュー、資料の分析で得た情報、自分たちの興味・関心や地域の方の思い・願いを基に課題を設定し、課題解決に向けて様々なアイデアを出すことができる。	体験活動やインタビューで得た情報、自分たちの興味・関心や地域の方の思い・願いを基に課題を設定し、課題解決に向けて様々なアイデアを出すことができる。	体験活動やインタビューで得た情報、自分たちの興味・関心や地域の方の思い・願いを基に課題を設定することができない。 また、課題解決に向けて様々なアイデアを出すことができない。
	エ 活動を計画・推進する力	課題解決に向けて、自分たちに必要な情報や準備物、解決方法や手順などの計画を立て、見通しをもって自発的・計画的に活動を進めている。	課題解決に向けて、自分たちに必要な情報や準備物、解決方法や手順などの計画を立て、見通しをもって計画的に活動を進めている。	課題解決に向けて、教師や地域の方などからの助言を参考に必要なる情報や準備物、解決方法や手順などの計画を立て、見通しをもって計画的に活動を進めている。	教師や地域の方などの助言を受けても計画を立てられない。 また、見通しをもって計画的に活動を進められない。
	オ 情報を収集する力	目的に応じて適切な情報収集の方法を選択するとともに、事前に考えた質問項目だけでなく、別の観点で観察したり、相手の反応を見ながら臨機応変に追加の質問をしたりして、より詳しい情報を収集している。さらに、情報の発信元や真偽を確かめながら、図書資料やインターネットを使って、必要な情報を収集している。	目的に応じて適切な情報収集の方法を選択するとともに、事前に考えた質問項目だけでなく、別の観点で観察したり、相手の反応を見ながら臨機応変に追加の質問をしたりして、より詳しい情報を収集している。また、図書資料やインターネットを使って、必要な情報を収集している。	事前に考えた質問項目だけでなく、別の観点で観察したり、相手の反応を見ながら臨機応変に追加の質問をしたりして、より詳しい情報を収集している。また、図書資料やインターネットを使って、必要な情報を収集している。	事前に考えた質問項目を聞くだけでインタビューが終わっている。あるいは、図書資料やインターネットを活用しても必要な情報を収集することができない。
	カ 整理・分析する力	様々な情報を、内容や目的と照らし合わせて最も効果的だと思われるシンキングツールを選択し、それを用いて比較・分類したり、関係付けたり、多面的・多角的に分析したりして、特徴などを見付けている。	様々な情報を、シンキングツールを用いて、比較・分類したり、関係付けたり、多面的・多角的に分析したりして、特徴などを見付けている。	様々な情報を、シンキングツールを用いて比較・分類したり、関係付けたりして、特徴などを見付けている。	様々な情報を、シンキングツールを用いて比較・分類したり、関係付けたりして、特徴などを見付けられない。
	キ 表現する力	効果的な表現方法を選択したり組み合わせたりしながら、資料を作成し、原稿なしで、その場で言葉を生み出しながら他者の共感を得たり他者を説得したりしている。	目的に応じて効果的な表現方法を選択したり組み合わせたりしながら資料を作成し、その場で言葉を考え、必要に応じて、スライドを指し示したり、相手の反応に合わせて話している。	目的に応じて構成や表現を工夫しながら資料を作成し、その場で言葉を考え、必要に応じて、スライドを指し示したり、相手の反応に合わせて話している。	目的に応じて構成や表現を工夫していない。その場で言葉を考えられない。
	ク 発想する力 工夫する力	社会や市場、消費者や視聴者の傾向を捉え、これまでの学習を生かし、ネーミングやキャッチコピー、デザイン、キャラクターなど、伝えたいことがよりよく伝わるように、発想を広げたり工夫したりしている。	これまでの学習を生かし、ネーミングやキャッチコピー、キャラクターなど、伝えたいことがよりよく伝わるように、発想を広げたり工夫したりしている。	自分なりの工夫を考え、ネーミングやキャッチコピー、デザイン、キャラクターなど、伝えたいことがよりよく伝わるように、発想を広げたり工夫したりしている。	自分なりの工夫を考えたいない。伝えたいことを伝えるための発想を広げたり工夫したりしていない。
	ケ 評価する力	お互いの発表や制作物に対し、よい点や改善点などを考えて伝え合っており、自己評価や他者評価を基に、よりよいものになるようにその都度改善している。	お互いの発表や制作物に対し、よい点や改善点などを考えて伝え合っており、自己評価や他者評価を基に、よりよいものになるように改善している。	お互いの発表や制作物に対し、よい点や改善点などを考えて伝え合っており、自己評価や他者評価を受けて、よりよいものになるように改善している。	お互いの発表や制作物に対し、よい点や改善点などを考えて伝え合っていない。他者の指摘を受けても、よりよいものになるように改善していない。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	コ 挑戦する力 やり遂げる力 (主体性)	課題の解決に向けて、実社会の場でも進んで挑戦し、失敗や困難に出合ってもその場で臨機応変に対応したり改善を図って再挑戦したりして、最後までやり切ろうとしている。	課題の解決に向けて、実社会の場でも進んで挑戦し、失敗や困難に出合っても改善を図って再挑戦し、最後までやり切ろうとしている。	課題の解決に向けて、進んで挑戦し、失敗や困難に出合っても改善を図って再挑戦し、最後までやり切ろうとしている。	課題の解決に向けて挑戦しようとしていない。失敗や困難に出合ったらあきらめている。
	サ 協働する力 (協調性)	課題解決に向けて、多様な意見を出し合いながら議論を行い、合意形成を図るとともに、自他のよさを生かしながら協力して活動を進めようとしている。	課題解決に向けて、多様な意見を出し合いながら議論を行い、合意形成を図るとともに、自分のよさをいかにしながら協力して活動を進めようとしている。	課題解決に向けて、多様な意見を出し合いながら議論を行い、合意形成を図りながら協力して活動を進めようとしている。	自分の意見を出そうとしていない。また、相手が納得するかを気にしていない。さらに、協力して活動を進めようとしていない。
	シ 将来を設計する力	活動を振り返る中で、自分や友達、地域によさに気付くとともに、夢や希望をもち、自分の将来を切り拓こうとしている。	活動を振り返る中で、自分や友達、地域によさに気付くとともに、自分のよさをさらに伸ばそうとしたり、将来について考えたりしている。	活動を振り返る中で、自分や友達、地域によさに気付くとともに、自分のよさをさらに伸ばそうとしたりしている。	活動を振り返っても、自分や友達、地域によさに気付いていない。

3 指導と評価の計画（全 40 時間）

時	学習活動	シンキング ツール	評価規準 (評価方法)
1 ～ 3	<ul style="list-style-type: none"> ●本単元の活動を知り、夏野菜販売の目標を設定し、計画を立てる。 ・夏野菜を生産・販売するという活動を知る。 ・過去の7年生の販売実績を知り、自分たちの目標（額）を設定する。 ・育てたい野菜を決めたり、販売の工夫を考えたりする。 	イメージマップ	(2)ウ (行動観察、 振り返りシートの分析)
4 ～ 16	<ul style="list-style-type: none"> ●夏野菜を生産したり、販売に向けた工夫を具体的に考えたりする。 (生産活動) ・ゲストティーチャーから夏野菜の生産方法を教えてもらう。 ・教えてもらったことを基に、野菜の生産活動に取り組む。 ・害虫やカラス対策に取り組む。 (販売活動) ・実社会にあるものを参考にしながら、具体的な販売の工夫について話し合う。 ・チラシや看板、メッセージカードなどを製作する。 	座標軸	(1)ア (1)イ (2)エ (2)オ (2)カ (2)ク (3)コ (行動観察、 ワークシートの分析)
17 ～ 19	<ul style="list-style-type: none"> ●夏野菜を収穫・選定し、自分たちが考えた販売の工夫をしながら道の駅で販売する。 (生産活動) ・夏野菜を収穫・選定し、袋詰めを行う。 (販売活動) ・自分たちが考えた販売の工夫を行い、道の駅で販売する。 		(2)カ (3)サ (行動観察)
20 ～ 25	<ul style="list-style-type: none"> ●目標額と実際の利益とを照らし合わせて、活動を振り返る。 ・目標額と実際の利益とを照らし合わせながら、目標の達成状況を確認する。 ・よい点・問題点・気になる点を出し合いながら、活動を振り返る。 ・夏野菜の生産販売に関わるプレゼンテーションを作成し、学園祭で発表する。 	PMIシート	(1)イ (2)キ (2)ケ (行動観察、 振り返りシートの分析)
26 ～ 30	<ul style="list-style-type: none"> ●じゃがいもの生産・販売の目標を設定し、計画を立てる。 ・夏野菜の結果や過去のじゃがいも販売の実績を基に、目標（額）を設定する。 ・じゃがいも販売に必要な情報をインタビューなどをして集める。 ・目標達成に向けた計画を立てる。 		(1)ア (2)ウ (2)オ (2)キ (3)シ (行動観察、 振り返りシートの分析)
31 ～ 37 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ●じゃがいもを生産したり、販売の工夫を具体的に考えたりする。 (生産活動) ・ゲストティーチャーから、じゃがいもの生産方法を教えてもらう。 ・教えてもらったことを基に、生産活動に取り組む。 (販売の活動) ・実社会にあるものや夏野菜販売での課題・改善案を参考にしながら、具体的な販売の工夫について話し合う。 ・チラシや看板、メッセージカードなどを製作する。 ・道の駅だけはらでの販売の仕方の工夫について話し合う。 	座標軸 くまでチャート	(1)イ (2)エ (2)ク (3)コ (3)サ (行動観察、 振り返りシートの分析)
38 ・ 39	<ul style="list-style-type: none"> ●じゃがいもを収穫・選定し、自分たちが考えた販売の工夫をしながら道の駅で販売する。 (生産活動) ・じゃがいもを収穫・選定し、袋詰めを行う。 (販売活動) ・自分たちが考えた販売の工夫を行い、道の駅で販売する。 		(2)カ (3)サ (行動観察)
40	<ul style="list-style-type: none"> ●目標額と実際の利益とを照らし合わせて、活動を振り返る。 ・目標額と実際の利益とを照らし合わせながら、目標の達成状況を確認する。 ・よい点・問題点・気になる点を出し合いながら、活動を振り返る。 	PMIシート	(2)ケ (3)シ (行動観察、 振り返りシートの分析)

4 本時について

(1) 本時の目標

販売に向けて準備を進めることを通して、買ってくれた人を笑顔にして、かつ黒字にするための工夫を具体的に考えることができる。

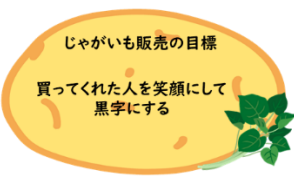
(2) 本時の評価規準及びびルーブリック

評価の観点	S (期待以上)	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する)
ク 発想する力 工夫する力	社会や市場、消費者や視聴者の傾向を捉え、これまでの学習を生かし、ネーミングやキャッチコピー、デザイン、キャラクターなど、伝えたいことがよりよく伝わるように、発想を広げたり工夫したりしている。	これまでの学習を生かし、ネーミングやキャッチコピー、デザイン、キャラクターなど、伝えたいことがよりよく伝わるように、発想を広げたり工夫したりしている。	自分なりの工夫を考え、ネーミングやキャッチコピー、デザイン、キャラクターなど、伝えたいことがよりよく伝わるように、発想を広げたり工夫したりしている。	自分なりの工夫を考えていない。伝えたいことを伝えるための発想を広げたり工夫したりしていない。

(3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童生徒への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)
1 本時の課題を設定する。	◇これまでの学習を想起することができるように、学習過程を振り返ることができる掲示物を教室に掲示しておく。	(2)ク (行動観察、 振り返りシートの分析)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> じゃがいも販売に向けて、作業の続きをしよう。 </div> 2 全体で共有・検討しておいた方がよいことについて話し合う。 例)・販売の役割分担 ・値段 ・メッセージカードに全員の写真を載せるかどうか 等	◇全体で共有・検討しておいた方がよいことを思い付きやすくするために、前時の振り返りから本時に関連するものを紹介する。	
3 販売に向けてグループで作業を行う。 ・総務班 ・POP班 ・メッセージカード班	◇じゃがいも販売での工夫を発送しやすくするために、昨年度のじゃがいも販売の写真を掲示する。 ◇生徒から学級で検討したいことが提案された場合には、作業の途中でも時間をとって検討する。	
4 本時の活動や販売までに必要なことを視点を振り返りを書く。	◇振り返りを書きやすくするために、振り返りを書く前に今日の授業で考えたことや感じたことを共有する。 ◇次時以降の見通しをもつことができるよう販売までに何をすべきかを問い、振り返りに書くように伝える。	

(4) 板書計画

1/23	じゃがいも販売に向けて、作業の続きをしよう。					
 <p>じゃがいも販売の目標 買ってくれた人を笑顔にして黒字にする</p>	<p>販売に向けて共有・検討したいこと</p> <p>○じゃがいも販売の役割分担</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジ係 ・接客、受け渡し ・呼び込み、ピラ配り <p>○値段</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1袋 じゃがいも 大 3個 小 10個 ⇒ どちらも250円 	<p>○メッセージカード</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="853 347 1141 425">賛成</th> <th data-bbox="1141 347 1436 425">反対</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="853 436 1141 616"> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの頑張る様子を見て買ってもらえる。 ・道の駅の人からのアドバイスであった。 </td> <td data-bbox="1141 436 1436 616"> <ul style="list-style-type: none"> ・写真NGの人がいる。 ・子どもの写真だと味の補償ができないイメージ。 </td> </tr> </tbody> </table>	賛成	反対	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの頑張る様子を見て買ってもらえる。 ・道の駅の人からのアドバイスであった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真NGの人がいる。 ・子どもの写真だと味の補償ができないイメージ。
賛成	反対					
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの頑張る様子を見て買ってもらえる。 ・道の駅の人からのアドバイスであった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真NGの人がいる。 ・子どもの写真だと味の補償ができないイメージ。 					

(5) 準備物

- 電子黒板
- Chromebook
- 写真教材